

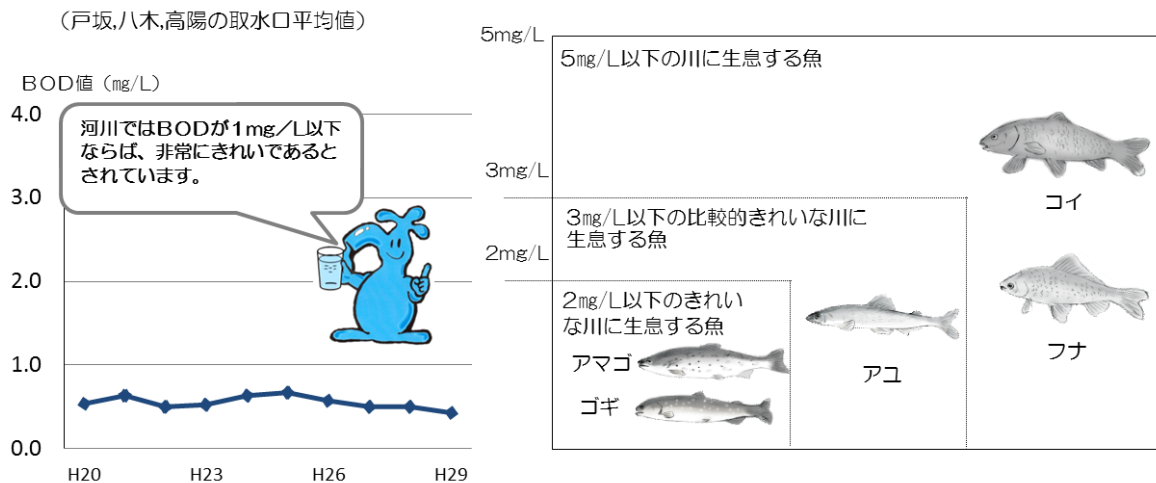
3 水源水質

(1) 水源水質

広島市の主要水源である太田川は、豊かな水量と清浄な水質に恵まれており、その中流域は、昭和 60 年に環境省が選定した「名水百選」に選ばれています。近年でも、河川の水質汚濁を示す代表的な指標である「BOD」の数値は、1mg/L 以下を保ちながら、ほぼ横ばいで推移しており、良好な状態を維持しています。

また、広島市の水源水質の特徴は、他都市と比較して、有機物や硬度の指標となるカルシウムやマグネシウムなどの物質が少ないことがあげられます。この要因として、太田川の流域面積の約 80%が森林で、流域人口が比較的少なく、広島県南西部の地質が花こう岩地帯であるため、中国山地に降った雨が花こう岩に磨かれて、まろやかな軟水を生みだしていると考えられます。

《太田川の水質推移》



「BOD」とは
生物化学的酸素要求量の意味。水中の有機物を栄養源としている微生物が増殖・呼吸するときに消費される酸素の量で、水質汚濁を示す代表的な指数です。

生息する魚でわかるBODの範囲
太田川の上流域にはアマゴやゴギ、中流域にはアユが生息するなど、水質に恵まれた環境を保っています。

(2) 水質管理体制

水道局では、ダムや河川などの水源から浄水場における浄水処理工程、そして各家庭の蛇口に至るまで、監視機器や検査機器を用いて水質を厳しくチェックしています。

水質検査結果の詳細は、
ホームページをご覧ください。
<http://www.water.city.hiroshima.jp/quality/results/index.html>

《水源から蛇口に至るまでの水質管理体制》

